



未来の遠野を担う子供たち

**問** 中学校再編成の現状をどう把握し、それを踏まえて今後どのような展開を図っていく考えなのか。

**答** (教育長) 今年1月から2月にかけて各町を一巡した懇談会での市民の声を通じ、総じて市内8校を3校に再編成する計画案について、小友町を除けば、

理解をいただいていると受け止めており、特に今年3月には、これまで計画案の見直しを求め、要望を行っていた附馬牛地区の方々から、再編成計画を進めていく前提に立った要望書の提出があり、それを受け5月31日には、23項目の要望事項に回答するとともに、意見交換を行うため、

## 中学校再編成の現状と今後の展開は



浅沼幸雄 議員 (正心会)

懇談会を開催したところである。

その場では、「再編成に向けた学校間・子供同士での積極的な交流の機会について」等々、新しい学校づくりへの多くの質問や意見が出された。それらはまさしく、再編成計画の決定後に学区単位で組織する「学校づくり協議会」で具体的に話し合っていく内容そのものであり、再編成計画の成果に向けて、大きく前進したものだという思いを強くした。

このことから再編成計画を策定する時期は、もう目前に迫っていると実感するものである。

なお、小友町については、話し合いの窓口となる「中学校再編成計画を考える会」との積極的な話し合いの場を創つていかなければならぬと考えている。

**答** (市長) 市として歩調を共にし、中学校再編成の推進に取り組んでいく時期が来ていると思っている。ただし、この

中学校再編成が単なる再編成にとどまるものではなく、再編成後に残された学校施設をどのように利用し、地域の活性化をどう見出すかという点も、計画と一緒に盛り込んでいく必要があると思っている。この議論は、教育委員会だけではできないのではなく、市の組織の総合力の中で総合計画後期基本計画や健全財政5ヶ年計画、過疎地域自立促進計画の中にもどのように整合性を図っていくのかという点も含め、集中的に議論を重ね、市民の皆様との誠意ある協議により、合意形成を図っていく考えである。